

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和02年07月03日

計画の名称	秋田市における良好な水環境ネットワークの形成												
計画の期間	平成27年度 ~ 平成31年度 (5年間)										重点配分対象の該当		
交付対象	秋田市												
計画の目標	本市において、整備手法の見直し等により新たに公共下水道で整備すべき地区も早期に未普及解消に取り組む必要があることから、それぞれ適正な手法で下水道整備に着手し、快適な暮らしを実現し、良好な水環境を創造する。												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	2,058	A	2,041	B	0	C	17	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0.82	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H27当初)	中間目標値 (H29末)	最終目標値 (H31末)
1	下水道処理人口普及率を92.1%(H27当初)から95.0%(H31末)に増加させる。 下水道処理人口普及率 下水道を利用できる人口(人)/総人口(人)	92%	94%	95%
2	水洗化率を88.7%(H27当初)から90.0%(H31末)に増加させる。 水洗化率 水洗化済みの人口(人)/下水道を利用できる人口(人)	89%	89%	90%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H27	H28	H29	H30	H31			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
下水道事業	A07-001	下水道	一般	秋田市	直接	秋田市	管渠(汚水)	新設	(未普及対策)太平・柳田幹線築造	75 ~ 200 L=15,500m	秋田市						1,365	-	
		重点移行 H30 ~																	
	A07-002	下水道	一般	秋田市	直接	秋田市	管渠(汚水)	新設	(未普及対策)秋田地域下水道管渠面整備	75 ~ 200 L=900m	秋田市							76	-
		重点移行 H30 ~																	
	A07-003	下水道	一般	秋田市	直接	秋田市	管渠(汚水)	新設	(未普及対策)河辺地域下水道管渠面整備	75 ~ 150 L=4,500m	秋田市							510	-
		地域種別:過疎																	
	A07-004	下水道	一般	秋田市	直接	秋田市	管渠(汚水)	新設	(未普及対策)八橋処理区流域統合	接続管渠 1,000 推進	秋田市							20	-
		重点移行 H29 ~																	
	A07-005	下水道	一般	秋田市	直接	秋田市	ポンプ場	新設	(未普及対策)金足中継ポンプ場建設	中継ポンプ場建設、圧送管布設	秋田市							20	-
		重点移行 H29 ~																	
	A07-006	下水道	一般	秋田市	直接	秋田市	管渠(汚水)	-	施設計画の見直し	効率的事業計画策定	秋田市							50	-
		重点移行 H31 ~																	
											小計							2,041	

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H27	H28	H29	H30	H31			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
											合計						2,041		

C 効果促進事業

基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H27	H28	H29	H30	H31				
一体的に実施することにより期待される効果																				
備考																				
下水道事業	C07-001	下水道	一般	秋田市	間接	秋田市	管渠（ 汚水）	新設	（未普及対策）秋田地域 宅内排水設備改造費用助 成金等	宅内排水設備助成金	秋田市						15		-	
		基幹事業の秋田地域下水道管渠面整備により下水道利用可能者の水洗化率を向上するため、宅内排水設備の改造費用に対し助成を行うことにより、快適な暮らしを実現し良好な水環境を創造する 重点移行 H31～																		
	C07-002	下水道	一般	秋田市	間接	秋田市	管渠（ 汚水）	新設	（未普及対策）河辺地域 宅内排水設備改造費用助 成金等	宅内排水設備助成金	秋田市						2		-	
		基幹事業の河辺地域下水道管渠面整備により下水道利用可能者の水洗化率を向上するため、宅内排水設備の改造費用に対し助成を行うことにより、快適な暮らしを実現し良好な水環境を創造する 地域種別：過疎、重点移行 H31～																		
												小計						17		
												合計						17		

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
秋田市下水道事業担当課により、事業実施状況・指標の達成状況の確認および評価を実施	計画期間終了後（令和2年5月）
	公表の方法 秋田市のホームページにて公表
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	下水道の整備を行った結果、秋田市の下水道処理人口普及率を92.1%(H27当初)から93.8%、水洗化率を88.7%(H27当初)から89.8%に増加させ、市民の快適な暮らしを実現し、良好な水環境の創造に寄与することができた。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
特記事項（今後の方針等）	
事業の成果として、平成31年度末現在で、下水道処理人口普及率の目標値95.0%に対し、実績が93.8%で目標に達しなかったが、整備の向上はできた。また、水洗化率についても目標値90.0%に対し、実績が89.8%で目標に達しなかったが、概ね目標を達成することができた。 引き続き、次期整備計画において下水道整備を行うことにより、良好な水環境を創造し下水道処理人口普及率および水洗化率の増加を図る。	

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	最終目標値	95%
	最終実績値	94%
幹線の整備は順調に進めたが、水洗化に伴う面整備工事の進捗が遅れたため、最終目標値95.0%に1.2ポイント達成しなかった。		
2	最終目標値	90%
	最終実績値	90%
想定以上の人口減少および面整備工事の遅れにより、最終目標値90.0%に0.2ポイント達成しなかった。		